

## 橋下市長任期最後の大阪市議会

# 地下鉄民営化や幼稚園廃園・民営化など提案

# 「大阪都」に固執し暴走

大阪市の2014年度決算を審議する大阪市議会が9月25日開会しました。橋下徹大阪市長(大阪維新の会代表)の任期中最後の議会ですが、橋下・維新の会がダブル選に向けて「大阪都」構想への「再挑戦」を打ち出し、市営地下鉄・バスの民営化など、これまでに議会で否決された廃止・民営化・統合案を再度提案するなど、維新政治の暴走を許すのかがどうかが大きな争点になっています。

## ダブル選で維新政治退場を市対連などパレード

### 二重行政解消も口実にして

公営・準公営会計決算を 橋下市長は25日、市営審議し、大阪市長選をは 地下鉄・市バスを民営化さんで、後半(11月24日)は同 するための手続き条例案から16年1月15日)は同 や、市立幼稚園3園を廃年度の一般会計決算を審 園し、6園を民営化する議します。 条例案を提案。さらに大



阪市立大学と府立大学、環境科学研究所(市)と公衆衛生研究所(府)、大阪港と堺・泉北港の統合案件まで「二重行政解消」の名で提出しました。橋下市長は9月16日の記者会見で、ダブル選をめくって「大きな争点は、『大阪都』構想の議論が完全に終結するか、設計図に修正をかけたいく話なのか、どっちなんですかということ」などと発言し、あくまで「大阪都」構想に固執しています。

### オール大阪で全力を尽くす

小川議員は、橋下・維新政治でバス路線が削減され、地域の暮らしが破壊されてきたとし、「市民の足を守るのが大阪市の仕事。コミュニティバス拡充など『オール大阪』で取り組む課題ができるよう全力を尽くす」と表明しました。

### 市民の声聴かず市民を欺く

### 行政水準維新で低くなった

開会日の25日には大阪市対策連絡会(市対連)と府民要求連絡会の共催で

「都構想反対!」「住民投票(の)結果に従えー」などのコールを響かせながら大阪市役所周辺をパレードする市対連・府民連の人たち11月9日、大阪市北区内

新婦人生野支部事務局長の中川美佳さんは、赤バス廃止・路線バス削減で高齢者の1割が外出をやめるなど深刻な事態が生まれていることや、小学校の統廃合が強引に進められようとしていることを告発。「市民の声を聞かず、市民を欺く橋下市政に怒りが広がっている。橋下・維新の会にこれ以上、大阪市を任せられない。『大阪都』を強く呼びかけました。」

また住吉市民病院用地への民間病院誘致をめぐる、「地域の医療体制が壊される(地元医師会など)などの反対世論を、橋下市長が「ミクロの声」と無視して、誘致を強引に進めようとしていることは許せないと強調。ダブル選で維新政治を終わらせ、まともな市政・府政を取り戻そうと呼び掛けました。」